

[様式 2]

杉並区立向陽中学校

令和 4 年度 卓球 部の活動方針・活動計画

令和 4 年 5 月 7 日

1 指導体制

顧問教諭等氏名		外部指導者氏名	資格等や経験	頻度
顧問	間所 弘之	佐々木 奈名子		月 1
顧問	荒幡 智佳	岡本 牧子		月 1
		三浦 弘子		週 1～2

2 部員数 1 年生 人 2 年生 8 人 3 年生 3 人 合計 人
(令和 4 年 4 月末現在)

	男	女	合計
1 年	9	4	13
2 年	3	5	8
3 年	3	0	3
合計	11	7	24

3 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
知、徳、体のバランスのとれた「生きる力」を育む。
スポーツを楽しむことで運動習慣の確立を図る。
バランスのとれた心身の成長と学校生活を送ることができるようにする。
- (2) 競技大会等の具体的到達目標
団体戦都大会出場と個人戦でも一人でも多く都大会に出場できるように日々の練習に取り組む。

4 活動方針

- (1) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、自ら進んで準備、練習、片付けを行い、他の生徒の模範となる。
- (2) 生徒相互の人間関係
個人の技量を上げるだけでなく、互いに助け教え合うことでチームとしての力を向上させる。
- (3) 練習や試合等の計画
月に 1, 2 回程度、競技力を高めるために他校との練習試合を行う。

5 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドライン等を活用して、顧問、外部指導員で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止
部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

(4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。
感染症の予防として「3密」を徹底的に避けるため、適時体育館の換気を行いながら活動する。また、活動開始前後、休憩毎の手洗い、うがいを徹底する。
感染症予防と熱中症予防の両立のため、マスクの着用は推奨するが適宜とする。
互いに道具（ラケットなど）やタオルの貸し借りは行わない。

6 活動計画

(1) 活動日：火・水・金・(土・日)

(2) 活動時間： 平日 16:00～18:00 (2時間)
休日 9:00～12:00 (3時間程度)

(3) 休養日：月・木曜日

(4) 年間活動予定

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介 春季研修大会4/29 (金祝)
	5	部活動保護者会
	6	杉並区選手権大会 [6/26 (日)、7/3 (日)]
	7	都大会 [代表選手：個人戦 代表校：団体戦] 7/23 (土)、24 (日)
	8	夏季休業中
2 学期	9	
	10	新人戦大会 [10/30 (日)、11/6 (日)]
	11	
	12	冬季休業中 都大会 (個人戦 代表選手 12/26, 27)
3 学期	1	冬季休業中 都大会 (団体戦 代表校) 1/22
	2	研修大会 2/5 (日) 都大会にはつながっていない大会
	3	春季休業中

(5) 参加予定大会

○公式戦

春季大会 昨年度の研修大会が4月に延期され実施

夏季大会 6月～7月の選手権大会

新人戦 10月の新人大会

○研修大会等

冬季研修大会 2月

(6) 部費

年間 0円 (徴収していません)

☆卓球の大会では、半袖シャツ（各学校のユニフォーム、または体育着）、ハーフパンツ、ゼッケン（ゼッケンの上部2か所を安全ピンで留めます。）を着用します。

今年度は部員数が多くなり、団体戦にきちんとしたチームとして出場できそうなのでユニフォームを購入したいと考えています。

<ゼッケンの大きさ目安>



ゼッケンは白地の布地に黒書きで記入します。
大会以外でも練習試合でも使用します。